



善正寺だより

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
fax:059-332-0733

揭示案法話

元旦や 今日のいのちに

会う不思議

(木村無相)



明けましておめでとーいといひます。平和な環境の中で、無事に年越しできることを有難いことと思わずにおられません。新年という節目は、立ち止まり、振り返り、一年の計を温める時であります。日頃の普通の生活の中で忘れがちな「おかげさま」を受け止める眼を開きたいものだ、と思ひます。

しかし、新年を待つ気持ちが大人も子供もだんだんと薄くなつてきました。正月を待たずとも、一年中お正月のようなおいしい、好きなものが食べられる。手間暇かけずに、いつでも便利に、快適な生活ができる。だから、感動することが少なくなり、感謝する心の感度が次第に鈍くなりました。

遊びにやってくる子供たちがありあわせのお菓子を上げたら、「賞味期限切れだ」とポイ捨て！「たった2、3日期限を過ぎていただけなのに・・・」と情けない気持ちになることがあります。「身体に悪い、健康を害するから古いものや汚いものに出すな、食べたらいけない」と家庭も社会も狭い価値観で教育し、「心を受け取ること」を忘れていひるのです。こうして、自分だけの幸せを優先す

る生き方が高じて「つながり」「絆」を絶ち切つていく。自分だけの欲望を肯定する社会は、助け合い、他人を思いやる心を乏しくするのです。だが、人間社会とは「間柄」(仏教的には、ご縁)によつて成り立っています。時間と空間を共にすることにより家族が生活し、仕事もできるのです。自分だけの時間、自分だけの空間が孤独を生み出すので、度を過ぎると孤立感が深まり、「誰も助けてくれない」と嘆く・・・。これは「無間地獄」といふことができるでしょう。現代は、「人多くして、人間が少なくなる時代」といふ間に覆われている時代だと言えます。闇を闇とも気づかず、一人前の人間のつもりで、欲望肥大症の餓鬼道に迷ひ、恥ずべき振る舞ひを恥じることなく畜生道に惑ひ、人間らしい生き方を失つていひるのではないのでしょうか？

「念仏申さんと思ひ立つ心の起る時、人間の生活が始まる」
かけがえのない、今日のいのちに遇ふ不思議」と目覚めて生きる、木村さんのような人生への歩みを進める

写真アラカルト



初めて昼間のお内仏報恩講



40名イス席での接待 境内内外の整備整う！



前住27回忌法要、5人の孫もお参り

☆行事ご案内☆

◇『元旦会』 & 『御正忌お朝事』



元旦会：1月1日朝9時

お朝事：1月13・14・16日の朝7時

15日はご本山報恩講に三重組十三日講で代表参拝の為休み。三日間の真宗門徒のプチ修行、正信偈、住職法話、茶話会等

◇除夜の鐘：12月31日夜11時45分より

誰でも撞けます。全員になまんだぶ煎餅進呈。元旦会は子供はお年玉用菓子進呈、大人は庫裏で親睦会。

◇絵手紙教室 1月10日(火)午前10時 17回目川崎光子先生「下手でいい、下手がいい！」どなたでもご自由にご参加を！

◇キッズサンガ 鐘つきは毎夕5時年中無休、1月はお経練習無

◇三重組コーラス 1/24午後1時、西勝寺様で練習、

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」好評。開設8年5ヵ月で22万4千訪問、一日約90訪問、悩み相談、大歓迎！即返信

◇一縁会テレホン法話：059・354・1454お電話を！

◇新納骨堂：後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事の場所でお困りの方、寺にご相談下さい。本堂使用可

◇予告『三重組十三日講』3月13日午前午後10年ぶりにお迎える大行事。門信徒一丸でお迎えしましょう。続いて3月18(土)19(日)『春季永代経』お参りが続く一週間です。

年にしたいものです。

坊守スケッチ

新年の抱負・ネット活用



明けましておめでとうございます。今年抱負を一字で表すとしたら、改革の『改』。何を改めるかと言えば、昨年のご法要から心機一転、寺に集う皆さんの目線で従来の寺のあり方を見直すこと。いわゆる門信徒ファースト！横文字を並べて新しがついているだけかもしれないが、今や瞬時に情報飛び交う時代です。寺側の一方的な思い込みで、伝統に胡坐をかき、寺にじっとしているだけでは、現代人の心は動かさません。

最近ネットで購入する人が増えていきます。店に足を運ぶ手間が省けて価格も比較できて、便利で経済的。しかし当て外れの商品が届いてがっかりすることもあります。ネットショッピングで参考にするのが、購入者のレビュー。おススメの☆の数や感想を見て購入を決めます。でも中にはやらせがあるので、騙される恐れにご用心。このままいくと、親切が取り柄の従来型の商店が太刀打ちできません。寺も同様の運命かもしれません。

しかし買い物に限らず、SNSの情報発信力は無視することはできません。一度に多くの人を集める社会的デモや芸能人のライブは驚くばかり。どこからあれだけの人が集まるのか不思議です。一時的ブームでも底知れぬパワーを感じます。

寺も限られた人だけを対象にしている時代遅れ。また一方的に法話を聞くだけの受け身型ではなく、参加型で感動を共有するシステムが必要です。ご法要の稚児行列は、社会へのアピール性に富んでいましたが、度々実施できるものではありません。今の私にできることは、紙媒体の毎月の寺報発行と、毎日のブログ更新で、情報発信を続けるのが精一杯です。今まで全くご縁の無かった方が、ネットを見て初めて寺にお参り頂くと、私には勇気百倍です。これからもネットを活用して、広く皆さんに愛されるお寺に改革していきたいと思えます。

寄稿

四日市市 沢清風

枯葉散り 旧友の訃報に 感無量
 『しまかせ』や 写真撮る我 若返り
 小春日や 老若集える 報恩講
 人の世の 無常を知るや 银杏舞ひ
 カンパありがとう！
 豊住久美夫様、富田和代様、山中ツヤ子様、矢田たず様、伴野節子様、高橋智恵子様、若松瑞穂様、辻忠雄様、柴田美津代様、廣田伊久枝様、他匿名様より頂戴しました。感謝申し上げます。



☆若院夫婦の『育自な毎日』その26
 先日、育児中の親向けの冊子に気になる特集がありました。「STOP!先回り育児」というもので、読むとドキリとすることばかり。

先回り育児とは、①時間がないときに親が代わりに着替えさせる、②「まだ無理」と思うことはやっつけてしまう、③うまくできる方法を教えてしまう、④子どもが悩んでいるときに親が決めてしまう、などです。

身に覚えのあることばかりで、子どもの「自分でやりたい」という気持ちを奪ってしまったのではないかと反省しました。先回りばかりしていると自立心が育たないそうです。「自分で考える子に育てたい」というのは、どの親にとっても共通の願いです。

先回りしないための心得として、次の四つがあるそうです。①親が手を出すのは「やっつて」と言われた時だけ。②忙しいときは事情を説明して親がやっつてよい。③子どもが自分で選ぶ機会を増やす。④結果より失敗する過程が大事。

「危ないから」「時間がないから」「難しいから」等の言い訳は、全部大人の都合であり、子どもの意思を無視しているのだと気付きました。子どもが自分の頭で悩んで考えてから行動できるように、この心得を頭の片隅に留めておきたいと思えます。

何事も『待つ』ことが重要なのです。でもそそっかしい私にはなかなかの試練(?)かもしれせん。(若坊守)

ホットニュース

◇境内の内外整備が完了しました。百年以上の風雪で割れ目が目立ち、草が生えた参道石畳や塀石垣。清々しく新たな気持ちで年末年始の行事「除夜の鐘・元旦会・お朝事」にお参り下さい。

◇屋間開催に変更した『お内仏報恩講』40名以上のご参加で大盛況。今後も皆様のお声に応じて改革します。

◇1月15日(日) 一本山報恩講に、十三日講の初講寺院で、三重組代表として世話方様等十一名で参拝します。

◇5月11日(木) 京都西本願寺『伝灯奉告法要』のバス団体参拝。おかげさまで募集定員40名達成。詳細は近づきましたらご連絡申し上げます。

◇【祝】元善正寺総代で、法要の華立で報謝された伊崎栄一氏が、長年保護士として貢献された活動が認められ、秋の叙勲の榮譽を受けられました。

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第二百七十七号をお届けします。◇昨年は親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を有縁の皆様のご懇志とご支援により修行させて頂きました。心より感謝申し上げます。◇寺も愈々厳しい時代になりつつありますが、有縁無縁の人々もろともに「仏法に遇えてよかった」と言える人生となりませう。心新たに精一杯努めたいと思えます。◇本紙とともに、ネット上のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」もご愛読賜りますよう、重ねてよろしくお願い申し上げます。合掌。

明けましておめでとうございます。毎月発行の善正寺だ
よりも24年目(第27号)を迎えました。これもひとえに皆様の
おかげと感謝しています。途中何度も挫けそうになりました。
特に冬の近隣住宅へのバイク便配達には指が千切れそう
で泣きたい思いでした。でも月に一回の配達で弱音を吐
いていたら、新聞配達員さんに笑われそう。却ってその
方達のご苦勞が分かって感謝の気持ち厚くなりました。
高齢者のバイク運転は危ないので、最近徒歩配達に
切り替えました。これも散歩の二環と思えば一挙両得。
かつての愛読者の方々が、次第にお姿が見えなくな
ると寂しさを隠せません。私達もいつまで続けられ
るか分かりませんが、自分自身の為だと思えて精進し
ます。8年半前から始めたブログ日任職と坊守のつれ
づれ日記は、毎朝5時台に更新UP。前日の出来
事で心に残ったことを投稿してから重坂山へ散歩に
出かけます。ブログは毎日平均90人以上の訪問、8年
間の累積訪問者数は22万3千人に達しました。
タイムリーな話題も、住職と坊守が各々の目録で情
報発信しています。全く知らない人から「見たよ」と
言ってくると不思議な親近感が生まれます。スマホ時
代に気軽に訪問できるSNSによって、お寺を身近な
存在に感じて頂くのが願いです。唯一私達の喜び
は皆様からの反響です。今年もよろしく。愛読下
さいませ。合掌

平成二十九年一月 善正寺坊守 拝